

職能科通信 20号

2013年6月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

平成24年度のまとめ



写真1 職能科職員

平成24年度は543名の方の支援を行いました(図1)。障がい別に見てみますと、外傷性脳損傷の方が半分で、次に脳血管障がい、脊髄障がいの順でした。高次脳機能障がいの方は414名で利用者の76%でした。

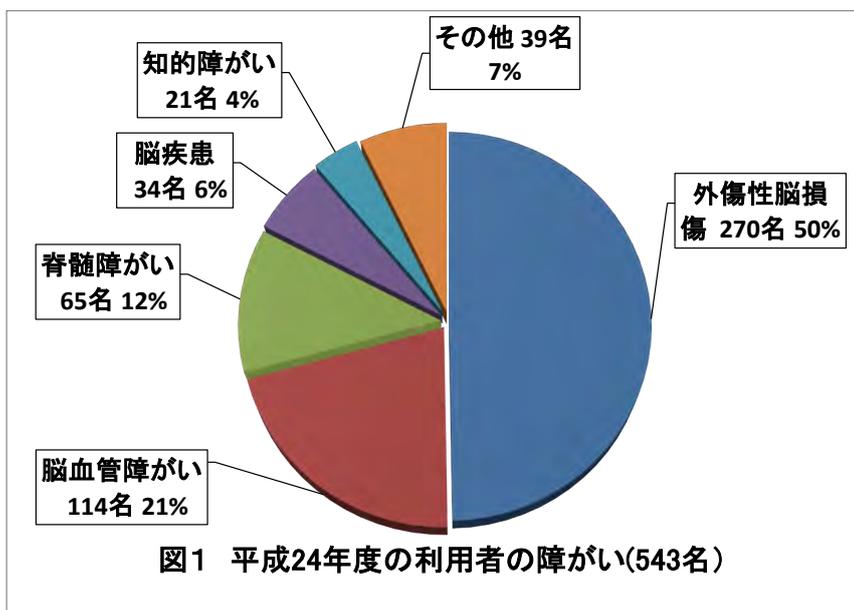
自営業への復帰を含めて就職・復職をされた方は68名です(表1)。この内高次脳機能障がいの方は42名でした。また、平成24年度は在宅雇用(会社への就職)への支援が実を結び、9名の方が就職しました。

今年度も病院の訓練室内だけの支援に留まらず、研修や事例検討会

への参加など地域への支援もより進めてまいりたいと思います。さらに高次脳機能障がいの方や在宅雇用を希望する重度身体障がいの方々など、地域就労支援機関と連携を強化しながら就労支援を進めてまいります。(泉 忠彦)

表1 平成24年度の就職者数

		人数	割合
新規就労	24名	外傷性脳損傷	10名
		脳血管障がい	1名
		脊髄障がい	4名
		脳疾患	1名
		知的障がい	3名
		その他	5名
復職	36名	外傷性脳損傷	19名
		脳血管障がい	10名
		脊髄障がい	4名
		脳疾患	2名
		その他	1名
自営	8名	外傷性脳損傷	4名
		脳血管障がい	2名
		脊髄障がい	0名
		脳疾患	2名
		その他	0名
		68名	



「重度身体障がいの方への在宅就労支援」報告

5月18日(土)神奈川リハビリテーション病院において、神奈川県リハビリテーション支援センター主催の表記研修会を開催しました。参加者は理学療法士、作業療法士、言語療法士、ソーシャルワーカー、訪問看護師、ケアマネジャー、ホームヘルパー、就労支援機関や障がい当事者など約40名でした。

内容は、職能科小林から「重度身体障がいの方の就労支援」の概要説明から始まり、続いて地域支援センターMSWから「生活を支える社会資源」として社会資源や制度および社会保障について、そしてOTから「在宅生活、就労に向けた作業療法士の取り組み」として生活支援やIT支援機器について、いずれも事例を交えて説明がありました。午後からは職能科松元より「在宅就労支援の実際」として職能科での在宅雇用支援プログラムの説明や支援事例の方の一日の生活と在宅勤務の状況をDVDで紹介しました。

そして、今回のメインは当職能科利用者であった在宅勤務者、クオールアシスト(株)河村恭子氏、UTハートフル(株)谷口圭氏、在宅雇用4年目を迎える能代美砂氏をお招きしての講義です。3氏からは、就職に至るまでの経過や現在の仕事・生活・健康に関することのお話をさせていただきました。在宅勤務当事者からの貴重な生の声に会場一同が聞き入り、たくさんの質疑応答がありました。最後に職能科泉のまとめで終了しました。

医学・生活・社会・職業リハの各段階で関わるスタッフが、就労の可能性を見出しつつネットワークを組んで連続的な支援をする重要性を共有できたのではないかと思います。(松元 健)



写真2 講義風景



写真3 質疑風景

「重度身体障がいの方への在宅就労支援」以外に神奈川総合リハビリテーションセンターが開催する研修の中で職能科が講師を務める研修会は以下の通りです。

○脊髄損傷のリハビリテーション・理解編 平成25年9月11日(水)神奈川リハ病院
○高次脳機能障害セミナー・実務編 平成25年12月7日(土)

○高次脳機能障害セミナー・就労支援編 厚木市ヤングコミュニティーセンター
日時、開催場所は未定

詳しくは当リハセンター、地域支援センターのホームページをご覧ください。(泉 忠彦)